

学生だけじゃない! だれでも  
スマホ基本料

3年間無料



挑んでる?  
イー・モバイル

en  
EMOBILE  
詳しくはこちら >

廃校の母校に感謝 笠戸島の2小学校で卒業式

山口県内の約7割にあたる230校の公立小学校で20日、卒業式があり、卒業生が思い出が詰まった学びやを後にした。本年度の卒業生は1万2869人(前年度比125人増)という。

3月末で廃校となる下松市笠戸島の笠戸小学校と江の浦小学校では最後の卒業式があった。これで島の全ての小学校が姿を消し、卒業生は下松中学校、在校生は下松小学校に通う。

笠戸小学校では、2人の生徒が卒業。溝部哲正校長から卒業証書を受け取り、それぞれ将来の夢を発表した。溝部校長は「周囲の人に感謝し、夢に向かって努力してほしい。母校とふるさと笠戸に誇りを持って卒業して」と式辞を述べた。

卒業の2人は「たくさんの思い出を胸に、中学校ではさらに大きく羽ばたきます。ありがとう笠戸小学校。そしてさようなら」と誓った。式が終わると、校庭に用意された花道を家族と歩き、教諭や在校生らから祝福を受け、笑顔で学びやを後にした。

笠戸小は1877(明治10)年の開校。最盛期の1944年度には164人だった児童数は過疎化などで徐々に減り、本年度の5人は開校以来最少だった。これまでに1566人の卒業生を送り出している。

26日に両校で閉校式がある。

2014年3月21日(金)掲載



笑顔で学びやを後にする笠戸小学校の卒業生=20日、下松市

**ソニー損保の医療保険なら**

病気・ケガの保障は一生に **がんの入院日数は無制限に保障!**

さらに

ソニー損保 [詳しくはこちら](#)

[戻る](#)

[山口新聞ホームへ](#)